

福島第一原子力発電所の状況について（日報）

2024年4月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所の状況について、以下のとおりお知らせいたします。

（下線部が新規事項）

【主な作業実績と至近の作業予定等】

- ・4月24日午前10時43分頃、所内電源A系が停止した。

プラント状況は以下のとおり。

・原子炉注水設備（1, 2, 3号機）	: 運転継続
・使用済燃料プール冷却設備（1, 2, 5, 6号機、共用プール）	: 運転継続
・格納容器ガス管理設備（1, 2, 3号機）	: 運転継続
・窒素封入設備（1, 2, 3号機）	: 運転継続
・陸側遮水壁設備	: 運転継続
・滞留水移送設備	: 運転継続
・サブドレン他水処理設備	: 運転継続
・多核種除去設備	: 停止中（異常なし）
・1~6号機設備プラントパラメータ	: 異常なし
・滞留水移送設備・水処理設備パラメータ	: 異常なし
・排気筒モニタの指示値	: 異常なし
・構内ダストモニタ指示値	: 異常なし
・構内線量表示器指示値	: 異常なし
・構内排水路モニタ、海水放射線モニタ指示値	: 異常なし
・ALPS処理水希釈放出設備	: 放出停止（停止時刻：午前10時43分）

午前10時43分頃に発生した所内電源A系の停止に伴い、免震重要棟M/Cの電圧がなくなった。このため、午前10時43分に実施計画第1編第29条で定める運転上の制限「免震重要棟の維持に必要な交流高圧電源母線が受電されていること」を逸脱したと判断。

免震重要棟電源については、午前10時43分に免震重要棟ガスタービン発電機が自動起動し、午前11時30分現場にて免震重要棟M/C母線電圧確立を確認したことから、運転上の制限逸脱からの復帰を判断。

また、午後0時にALPS処理水希釈放出設備に異常がないことを確認。

現場状況を確認したところ、大型機器点検建屋西側屋外において発生した負傷者が掘削していた現場は、停止した所内電源A系ケーブル（電路）の近傍であることが確認されたことから、掘削作業によりケーブルを損傷したものと推定。詳細については現在調査中。

- ・4月24日午前10時47分頃、大型機器点検建屋西側屋外において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午前10時57分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無 : なし
- ・発生状況 : 掘削作業中、負傷した。負傷者の意識はあり。

当該負傷者は、救急車で搬送先の医療機関に到着。

- ・救急車出発時刻 : 午前11時34分
- ・救急車到着時刻 : 午前11時49分

- ・3号機においては、原子炉格納容器内の酸素濃度をより低減し、さらなる機器保全ならびに環境維持に繋げることを目的に、原子炉圧力容器ラインからの窒素封入量の変更を4月19日に実施している。

目標：16Nm³/h→19Nm³/h

実績：16Nm³/h→17.2Nm³/h

原子炉圧力容器ラインに加え、新たに原子炉格納容器ラインからも窒素を封入することで、合計流量を19Nm³/hとすることを目標として、原子炉格納容器窒素封入量を以下のとおり変更する。

<3号機窒素封入量変更予定>

(4月24日)

窒素封入量：17.2Nm³/h→19.0Nm³/h

[内訳]原子炉圧力容器ライン：17.2Nm³/h→13.0Nm³/h

原子炉格納容器ライン：0.0Nm³/h→6.0Nm³/h

なお、4月19日の窒素封入量変更前後において、酸素濃度を確認しており、結果は以下のとおり。引き続き、酸素濃度を確認する。

<原子炉格納容器ガス管理設備の排気ファン上流 酸素濃度測定結果>

2023年12月から2024年3月 約2～3%

(4月19日) 0.8%

(4月22日) 0.9%

今後も、窒素封入量は酸素濃度等の傾向を確認しつつ変更する可能性がある。再度、窒素封入量を変更する場合は、事前にお知らせする。

引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。

4月24日、所内電源A系停止の発生に伴い延期する。変更後の実施日については、確定次第お知らせする。

【サブドレン他水処理施設の状況】

一時貯水タンク	分析結果	排水開始	排水終了	排水量
D	運用目標値を満足 (採取日4月19日)	4月24日予定	—	—
E	運用目標値を満足 (採取日4月20日)	4月25日予定	—	—

【地下水バイパスの状況】

一時貯留タンク	分析結果	排水開始	排水終了	排水量
グループ2	運用目標値を満足 (採取日4月19日)	4月24日 午前10時14分	—	—

【ALPS 処理水測定・確認用タンクの状況】

タンク群	分析結果	放出開始	放出終了	放出量
C	運用目標値を満足 (採取日2月29日)	4月19日 午前11時14分	—	—

・放出を継続しているALPS処理水測定確認用タンクC群の放出実績は以下の通りです。

放出実績：4月23日午前0時～4月24日午前0時 約456 m³

【構内および海域モニタリング結果の状況】

- ・地下水（1～4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス）、排水路、海水（港湾内、港湾外、1～4号機取水口内）、魚介類、海藻類等の分析結果は、至近の分析値と比較して有意な変動なし。
- ・なお、トリチウムを中心とした拡散状況や海洋生物の状況を今後継続して確認するため、2022年4月から海水（港湾外）、魚類、海藻類のモニタリングを強化している（2022年4月20日から試料採取を開始）。

※サンプリング結果の詳細については当社ホームページをご参照ください。

＜福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果＞

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/analysis/>

＜福島第一原子力発電所における日々の放射性物質の分析結果＞

https://www.tepco.co.jp/decommission/data/daily_analysis/

【原子炉および使用済燃料プールの冷却状況】

＜原子炉＞

- ・1～3号機原子炉への注水を継続中（各号機ともに冷温停止状態を継続中）。

＜使用済燃料プール＞

- ・1, 2, 5, 6号機使用済燃料プールを冷却中（3, 4号機は燃料取り出し済み）。

【1～6号機の状況】

※プラント関連パラメータ等の詳細については当社ホームページをご参照ください。

＜水位・圧力・温度など＞

https://www.tepco.co.jp/decommission/data/plant_data/

以 上

添付資料

- ・ [過去の実績（2024年1月1日以降）（251KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2023年12月31日）

- ・ [過去の実績（2023年1月1日～12月31日）（325KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2022年12月31日）

- ・ [過去の実績（2022年1月1日～12月31日）（406KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2021年12月31日）

- ・ [過去の実績（2021年1月1日～12月31日）（480KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2020年12月31日）

- ・ [過去の実績（2020年1月1日～12月31日）（344KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2019年12月31日）

- ・ [過去の実績（2019年1月1日～12月31日）（345KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2018年12月31日）

- [過去の実績（2018年1月1日～12月31日）（292KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2017年12月31日）

- [過去の実績（2017年1月1日～12月31日）（322KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2016年12月31日午後3時）

- [過去の実績（2016年1月1日～12月31日）（385KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2015年12月31日午後3時）

- [過去の実績（2015年1月1日～12月31日）（600KB）](#)

参考資料（最終更新日時：平成26年12月31日午後4時）

- [過去の実績（平成26年1月1日～12月31日）（722KB）](#)

参考資料（最終更新日時：平成25年12月31日午後3時）

- [過去の実績（平成25年1月1日～12月31日）（821KB）](#)

参考資料（最終更新日時：平成25年10月22日午後3時）

- [過去の実績（平成24年1月1日～12月31日）（638KB）](#)

参考資料（最終更新日時：平成24年4月7日午後3時）

- [過去の実績（平成23年3月11日～12月31日）（523KB）](#)

※上記資料の最新版は、[【「東北地方太平洋沖地震による影響などについて」実績ファイル](#) ページをご覧ください。